

標十五句

松岡隆子選

あをくさきにほひ上蔭まで四日
詩ごころの沙羅散りしかばことさらに
ブーゲンビリア咲かせ港の何でも屋
忍ぶものに老や金魚のひるがへり
父の日の捨てててよい本残す本
姫女苑雨後の濁りに川急ぎ
築崩れくづれ瀬音の猛々し
座布団を替へて大暑の日なりけり
糸とんぼ止まらむとして風の杭
淡海は大きな水甕白日傘
人遠く歳月遠く瓜きざむ
滴りのかすかな音に分け入りぬ
ぐいと飲む四万六千日の水
煮こんにやく苾まで熱し梅雨深し
草ぐさの光芒多に夏の露

川上昌子
室井千鶴子
秋元きみ子
鈴木綾
相馬晃一
松原ふみ子
佐藤郭子
別府優
渡辺あつ子
峰岸よし子
石崎章子
藤田幸子
東條恭子
富樫郁子
早川紀子